

# 児童・青少年演劇ジャーナル

# げき4

2006年  
9月刊行!  
好評発売中!

編集・発行=児童・青少年演劇ジャーナル〈げき〉編集委員会

定価●1200円+税

児童青少年演劇については、かねてから「批評の不在」が叫ばれ、「情報の偏在」が指摘され、戯曲の発表の場がないことが、問題にされていた。  
観客の側からは、児童青少年演劇の世界を、文字情報として総合的に把握する手段がないことが指摘され、創造側からは、より高い創造を目ざすための、研修の手がかりがもとめられていた。  
こうした要望に応えるための、新雑誌発刊なのである。——編集代表=ふじたあさや(創刊号・巻頭言より)

## 子どもと演劇のよりよい出会いを求めて——

- 演劇鑑賞は子どもの何を育てるの?—演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。
- いま、どんな劇を子どもに見せればいいのか?—児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。
- 地域の文化活動全体をどう育てたらいいのだろうか?—地域の話題、先進的な試み、海外の事例などを紹介。
- 児童・青少年演劇演劇づくりの課題は何だろうか?—演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

子どもたちの輝き 劇と子育て・心育・脳育=丸山信之 医学博士

### 「演劇教科書」編集会議録

=平田オリザ+森田勝也+ふじたあさや

[連載] 表現教育の現場から4 =西田豊子

[報告] 杉並区立富士見小学校演劇授業発表会を見て  
演劇教育の可能性 = 蓑田正治

### 「特集」子どものための劇場

[報告] 札幌市こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座訪問  
子どものための公立劇場に期待する = 森田勝也  
[緊急アピール] 東京都児童会館の“廃止”について

### 「劇評」児童・青少年演劇の舞台から

安住恭子/岩崎 明/土居安子/関 明/神沢利明/山本茂男

[エッセイ]カーテンコール=高坂 諭/田中寛次

[追悼] 西山三郎さん(舞台美術) / 菊地勇一さん(劇団仲間/俳優)

定期購読をお願いします!  
年2回発行の本誌を確実にお届けするため  
ぜひ、定期購読をお願いいたします。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは——

**児演協事務局** 〒160-0023新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2-4 TEL03-5909-3064 FAX03-5909-3065

発売・晩成書房 〒101-0064東京都千代田区猿楽町1-4-4 TEL03-3293-8348 FAX03-3293-8349 mail@bansei.co.jp

注文書  
●お申込み先は  
**児演協事務局**  
FAX03-5909-3065

ご注文	●お申込先 <b>児演協事務局</b> 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX03-5909-3065	
冊	<b>児童・青少年演劇ジャーナル げき4</b> ●定価 1200円+税	
お名前・劇団名	住所 □□□□-□□□□	
劇団の場合 ご担当者名		
電話 ( )	メール @	
定期購読お申し込み欄	( ) 定期購読する。次号からも同数購読します。	

## げき4 目次から

[インタビュー] 自分史としての児童・青少年演劇4  
「必要にして且つ充分なる表現」を  
演出家 **関矢幸雄**さん

[戯曲] 『さんしょう太夫—説経節より』  
作=ふじたあさや

[初日拝見] 人形劇団ブーク『すてきな3にんぐみ』  
劇団 前進座『さんしょう太夫—説経節より』  
[劇団訪問] ■劇団 如月舎(大阪) ■劇団 芸優座(東京)

[資料]  
日本全国/  
児童・青少年演劇劇団MAP

- [受賞おめでとう!]
- 日本児童演劇協会賞 ■香川良成さん 佐藤嘉一さん
  - O夫人児童青少年演劇賞 ■かめやまゆたかさん ■全児演賞 ■
  - 正賞=鳴海輝雅さん
  - 特別賞=グループ 若芽
  - 特別賞=かたおかしろうさん

[レポート]  
イギリスの旅公演に参加して  
=小森創介  
(演劇集団 円/俳優)